

Fukuoka City Public Library Movie Hall
福岡市総合図書館映像ホール

シネラ

Ciné-là NEWS

シネラ・ニュース

August.1999 No.37

8

[特集]

アジアの子どもたち

[特集]

アニメーション特集

[特別企画]

アジアフォーカス・福岡映画祭'99イベント

'99(第10回)福岡アジア文化賞

大賞授賞記念

侯孝賢 監督傑作選

ホウ・シャオシェン



「恋恋風塵」/イラスト:山下良平

侯孝賢 監督傑作選

ホウ・シャオシェン

主催：福岡アジア文化賞委員会、福岡市総合図書館

会期：8月25日(水)～27日(金)

観覧料：500円(大人) 400円(大学生・高校生) 300円(中学生・小学生)

※定員制・各回入替制。※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※福岡市在住の障害者の方は無料、福岡市在住の65才以上の方は半額。(手帳の提示が必要です。)

侯孝賢監督は1947年中国の広東省梅県に生まれる。翌年家族とともに台湾へ移り、南部の鳳山で少年時代を過ごす。12才の時父が死去。その6年後母が後を追うように死去。69年に兵役を終え、国立芸術学院映画・演劇科に入学。72年に卒業後、一時電算機のセールスマンとして働くが、73年に李行監督の「心有千千結」のスクリプターとして映画界入りする。以後多くの映画に助監督、脚本家として参加している。

80年に「ステキな彼女」で監督デビュー。陳坤厚監督の「少年」(83年)で金馬獎最優秀脚本賞を受賞。また侯孝賢、曾壯祥、萬仁の三人の監督によるオムニバス「坊やの人情」(83年)は台湾ニューウェーブの先駆けとして高く評価されている。

「風櫃の少年」(83年)「冬の夏休み」(84年)「童年往事」(85年)「恋恋風塵」(87年)の少年期4部作は、ベルリン、ナント、ハワイ、ニューヨーク等世界各地の映画祭に出品され、侯孝賢監督の名前を世界に知らしめる。88年にロッテルダム映画祭が行ったアンケート「明日をになう世界の映画作家」では、ヴェンダース、ジャームッシュについて3位にランクされるなど、次世代を担う若手監督として確固たる地位を獲得する。

そして89年「悲情城市」で、ヴェネチア映画祭グランプリを受賞。93年には「戲夢人生」でカンヌ映画祭審査員賞を受賞するなど台湾映画を代表する世界的巨匠として活動を続けている。上記以外の作品として「好男好女」(95年)「フラワーズ・オブ・シャンハイ」(98年)等がある。

侯孝賢監督作品の魅力は語るにまず欠かせないのが初期の少年期4部作である。「風櫃の少年」は台湾海峡の離島に生まれた三人の少年が、大都会・高雄で工員として無為の日々を送る様子が描かれる。「冬の夏休み」は少年・冬冬(トントン)が妹と二人で夏休みに田舎の祖父の家に遊びに行く話である。「童年往事」は国民党と共に台湾に移住してきた家族の物語が、主人公

の少年の目を通して描かれる。そして「恋恋風塵」は10代のカップルの淡い恋愛の物語である。特に「童年往事」には侯孝賢監督の少年時代が色濃く反映されているという。

いずれも田舎に生まれ育った少年が主人公である点が共通しており、田舎の街に溶け込んだ生活や習慣がきめ細かに描かれる。侯孝賢監督は田舎ばかりを映画の舞台にすることに、「ただ田舎が好きだから、外のロケが好きだから」としか答えないが、この少年期4部作は田舎の街で映画、喧嘩、博打に明け暮れたという若き日の侯孝賢を我々の身近な存在に感じさせるのだ。ロングショットの長回しを基調としたカメラワーク、断片的な物語、静かで流れるようなセリフと音楽、侯孝賢監督作品に見られる特徴は、我々に自分自身の思い出のワンシーンを想起させる。台湾に育った人々は自らの原風景として、我々日本人はすでになくしてしまっただけの故郷への郷愁としてである。侯孝賢監督作品の美しいとしか形容できないシーンの数々は、観客の心の中に自らの思い出と重なりながら沈殿していくのである。

侯孝賢監督 ～その足跡と作品の魅力～



かに自分を重ね合わせれば良いのだ。

自らの映画スタイルを確立した侯孝賢監督が、台湾現代史のタブーとされた「228事件」に挑んだ作品が「悲情城市」であった。そして「戲夢人生」「好男好女」と台湾現代史三部作へと侯孝賢監督の物語は家族から社会へと拡がっていく。しかしかつてガキ大将だった侯孝賢監督の視線が人々の生活から離れることはない。苦難の時代を生きて抜いてゆく人々に寄り添い、心を込めて物語を描く。それが変わらない侯孝賢監督作品の魅力なのである。なお、侯孝賢監督の台湾のみならずアジアの映画界に果たしてきた功績が高く評価されて、今年の福岡アジア文化賞・大賞が贈られる。

(学芸員 八尋 義幸)

アニメーション特集

アニメーションと言っても多種多様なものがあります。通常テレビ等で見られるものはセルアニメーションと呼ばれるものですが、白蛇伝は日本で最初の長編セルアニメーションであり、歴史的な作品です。現在では見られない緻密な動きが表現された作品です。同じ手法でも漫画家の手塚治虫が監督した「ある街角の物語」展覧会の絵はセリフを使わずにただで見せるというものです。川本喜八郎監督は立体(人形)アニメーションの作家です。日本の伝統美を活かした作品群は国際的にも高く評価されています。

手法もテーマも様々ですが、アニメーションという技法に込められた豊かな表現力と可能性を感じ取っていただければ幸いです。

会期／8月18日(水)～22日(日)
観覧料／500円(大人) 400円(大学生・高校生) 300円(中学生・小学生)
※定員制・各回入替制。※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。
※福岡市在住の障害者の方は無料、福岡市在住の65才以上の方は半額(手帳の提示が必要です。)

白蛇伝

18日(水)14時 21日(土)11時
脚本・演出／藤下泰司
58年／35ミリ／カラー／79分／東映動画
日本で最初の長編カラーアニメーション。
原作は中国・明朝・清朝時代の小説。人に化身した白蛇と人間との純愛物語である。これを親子で楽しめるように脚色しなおし動画作した。声優は森繁久彌と宮城まり子が分担して担当している。

龍の子太郎

18日(水)19時 21日(土)15時
脚本・演出／浦山桐郎
79年／35ミリ／カラー／76分／東映動画
原作は民話を基にした松谷みよ子による同名の児童文学。これをキューボラのある街の浦山桐郎が監督している。昔々、貧しい村に育った太郎は、自分が龍となった母から生まれたことを知る。太郎はその龍に会ったため、龍が住むという湖に向かう。

かぐや姫

19日(木)19時 22日(日)11時
脚本・演出／渡辺和彦
61年／16ミリ／カラー／27分／学研映画局
竹取物語を子供向けにして、セルや半立体アニメで動画作した教育映画。50年代後半に映画に進出した学研映画によるもので、第一の王子による、仏の鉢探索のシーンが特に秀逸。

ねずみのよめいり

61年／35ミリ／カラー／13分／東映動画
脚本・構成・演出／白川大作・月岡貞夫
東映動画が社内の人材育成のために短編動画を製作するという方針を打ち出し、それに沿って製作された二作品のうちの一。ネズミが自分の娘の結婚相手を探すという、有名な日本民話を現代的な感覚でアレンジしている。

みにくいあひるの子

68年／16ミリ／カラー／20分／学研映画局
脚本・演出／渡辺和彦
みんなから醜い、醜いと言われていたアヒルの子が実は、白鳥の子供であったという有名な童話を、愛らしい人形を使ってアニメ化した作品。子供向けの作品だが、背景のセッティングに幾何学的な形状のプラスチックなどを使っている点がおもしろい。

ある街角の物語

20日(金)14時 22日(日)15時
脚本・演出／山本映一
62年／35ミリ／カラー／39分
構成／手塚治虫
永年、アニメ製作の夢を抱いていた手塚治虫が1951年に設立した虫プロダクションの第一作。ある国のある街角が舞台であり、他愛ない街角の風景から始まる。やがて街角に、独裁者のポスターが貼られ、戦争が始まる。スタッフの意気込みが感じられる力作。

展覧会の絵

66年／35ミリ／カラー／34分
脚本・総監督／手塚治虫
ムソルグスキーの有名な組曲に動画作った作品。10の小品と間をつなぐプロムナードからなる原曲に対し、その小曲それぞれに独立したエピソードを与えた作品。日本の実験アニメの代表作であり、TVにおける手塚アニメと異なる面を見ることが出来る。

フィルム保存という仕事

フィルムは、それ自体トリアセートやポリエステルでできた連続写真に過ぎません。映写機にかけられ、スクリーン上に投影されて始めて「映画」になるわけです。しかしこの、「フィルムが映画になる」為の絶対条件が、同時にフィルム保存にとっては大きな障害になってしまいます。

映写機は正確に1秒24コマでフィルムを送り続けます。そのフィルムがどれだけ貴重な作品であろうと、またどれだけ傷んでいようと、そんなことにはおかまいなしにフィルムは高温の光源の中を走り続けます。つまり、一度映写機が走り始めたら、もう大切に扱うことができないのです。この部分は傷んでいるからちょっとゆっくり走らせようとい

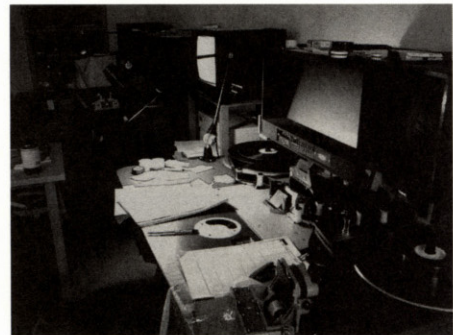
うことができない。これが書物であれば、慎重に頁を捲る、ということができのですが、そうした人間的ないたわりがここでは許されません。

ですから、私たちは、上映前と上映後に出来る限りのいたわりをフィルムに対して施してやらねばいけない。これが、フィルム保存の仕事にとって一番大切な態度だろうと思っています。作品に対する個人的な興味を介在させない、というこだわりも必要でしょう。どんな作品であろうと保存すべきプリントであることに変わりはありません。

またこの仕事は、映写技師の理解と協力がなければ成り立ちません。収蔵庫から取り出されたフィルムは、映写技師による検査ののち、調整・清掃された映写機によって上映されます。上映後のフィルムは編集台の上に乗せられ、コンディションの変化を記録され、必要があれば補修を受け、さらにクリーニングを経て収蔵庫に帰って行きます。この一連の作業の流れのなかに、フィルム保存の現実の一切があるのです。

フィルムの保存と上映は、本質的に矛盾する行為であることは否定できませんが、私たちはあくまで上映を前提とした保存という立場を取っています。フィルムを保存すると言うよりも、「映画」を保存すると言ったほうが正確かも知れません。

フィルム保存専門員 松本圭二



フィルム編集台

お知らせ

INFORMATION

ギャラリー展示

第3回文書資料新収蔵品展

郷土福岡の歴史

平成9年度に収集した古文書等を紹介する展覧会を開催します。今回の展示は、「福岡藩政」「福岡藩の学者」「明治大正時代の福岡」「昭和時代の福岡」の4つのコーナーに分けて行います。まず、「福岡藩政」では、藩主黒田氏とその家臣の関係資料、「福岡藩の学者」では、藩校修猷館

館長の竹田氏、藩校甘棠館館長の亀井氏の関係資料を展示します。「明治大正時代の福岡」「昭和時代の福岡」では、明治から昭和まで、各時代の福岡で活躍した人物の関係資料を展示します。

会期：平成11年6月29日(火)
～8月29日(日)
会場：福岡市総合図書館1階ギャラリー
観覧料：無料

ミニシアター

イギリス映画特別上映会

「Black Beauty」

監督／キャロライン・トンプソン

1994年／カラー／88分／日本語字幕なし(当日あらすじを配布します。)

日時：8月7日(土)14:00～

会場：福岡市総合図書館ミニシアター
観覧料：無料

お問い合わせ／092-752-3750 プリティッシュ・カウンシル福岡

各団体の自主上映

8月28日(土)

「教えられなかった戦争～フィリピン編」(記録映画)
撮影・編集 高岩 仁

観覧料：前売1,500円、当日1,800円

主催：福岡映画サークル協議会TEL：092-781-2817

※自主上映の詳細については、直接主催者にお問い合わせ下さい。

ビデオ編集技術研修室のご案内

ビデオ研修室では、家庭で撮影された8ミリビデオや各行事の記録ビデオの編集などに利用できます。(使用料1.時間500円、連続使用3時間迄、デジタルビデオの編集は不可)

※詳しくは福岡市総合図書館映像資料課まで

映像ホール利用申し込みについて

平成12年1月以降、映像ホールで図書館の企画上映がない下記の期間は、映像ホールを有料で利用することが出来ます。(但し映像文化の普及振興を目的とした非営利の映写会の利用に限る)

期間：平成12年1月26日(水)～1月30日(日)
8月3日(火)11時より受付

利用に関しては条件等がございますので、詳しくは福岡市総合図書館映像資料課TEL:092(852)0608までお問い合わせ下さい。

シネラNEWS送付のご案内

シネラで上映する作品の紹介や上映スケジュール、図書館で開催される各種イベント等の情報を満載した「シネラNEWS」を毎月お届けします。定期購読を希望される方は平成11年9月号より平成12年3月号迄の郵便切手(90円×7枚)を同封の上、下記宛先までお申し込み下さい。

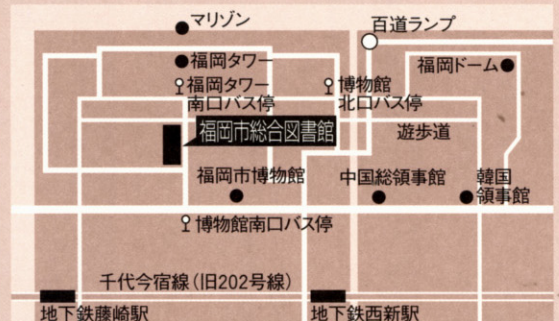
宛先：

〒814-0001福岡市早良区百道浜3丁目7番1号
福岡市総合図書館 映像資料課

8月

1 日
2 月
3 火
4 水
5 木
6 金
7 土
8 日
9 月
10 火
11 水
12 木
13 金
14 土
15 日
16 月
17 火
18 水
19 木
20 金
21 土
22 日
23 月
24 火
25 水
26 木
27 金
28 土
29 日
30 月
31 火

11:00 泥の河	15:00 青空がはくの家
休 館 日	
休 映 日	
14:00 ハーモニカ	19:00 ぼくは一人前
14:00 チック・タック	ザ・ブーツ
14:00 泥の河	19:00 青空がはくの家
11:00 チック・タック	15:00 ザ・ブーツ
11:00 ハーモニカ	15:00 ぼくは一人前
休 館 日	
休 映 日	
14:00 青空がはくの家	19:00 泥の河
14:00 ぼくの家出	19:00 少年と狼
11:00 おせっかいはNO、愛はOK	15:00 ワウと子豚
11:00 ぼくの家出	15:00 少年と狼
11:00 ワウと子豚	15:00 おせっかいはNO、愛はOK
休 館 日	
休 映 日	
14:00 白蛇伝	19:00 龍の子太郎
14:00 川本喜八郎 短編アニメ	19:00 かぐや姫 他
14:00 手塚治虫 短編アニメ	19:00 川本喜八郎 短編アニメ
11:00 白蛇伝	15:00 龍の子太郎
11:00 かぐや姫 他	15:00 手塚治虫 短編アニメ
休 館 日	
休 映 日	
14:00 童年往事	19:00 恋恋風塵
14:00 悲情城市	19:00 童年往事
14:00 恋恋風塵	19:00 悲情城市
自主上映「教えられなかった戦争～フィリピン編」	
14:00 アジアフォーカス・福岡映画祭プライベート99 先行上映会「マヨネーズ」	
休 館 日	
休 館 日	



交通アクセス：当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
地下鉄：西新駅または藤崎駅から徒歩15分
西鉄バス：天神～都市高速経由～福岡タワー南口
(所要時間 昼間で約20分)
博多駅～都市高速経由～福岡タワー南口
(所要時間 昼間で約25分)
福岡タワー南口バス停から徒歩3分
いずれも、昼間は10～15分間隔で運行されていますので大変便利です。
お近くのバス停からのご利用につきましては、西日本鉄道テレホンセンター(電話 733-3333)に直接お問い合わせください。

編集雑誌

シネラでは、日頃から皆様に幅広く映像文化に触れていただくための努力をしています。今月は夏休みで、子どもにも親しまれる作品を多く取り上げました。ご来館をお待ちします。

(木元)

Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là

福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表)092(852)0600 映像資料課092(852)0608 Fax.092(852)0609